

## 残留農薬検査(平成25年度 その3)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成26年1月から3月までに食品専門監視班より搬入された農産物等の検査結果を報告します。

### 1 市内産農産物

3月に搬入されたキャベツ(2検体)、こまつな(4検体)及びほうれんそう(4検体)の計10検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。ほうれんそう1検体からアゾキシストロビンが0.02ppm検出されましたが、基準値以下でした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(H26年1月～H26年3月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
<b>市内産農産物</b>						
キャベツ	横浜市	2	0			
こまつな	横浜市	4	0			
ほうれんそう	横浜市	4	1	アゾキシストロビン	0.02	30

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	キャベツ		農薬名	検出限界 (ppm)	ほうれんそう	
		こまつな	ほうれんそう			こまつな	ほうれんそう
BHC(α, β, γ及びδの和)	0.005	—*1	○*1	クミルロン	0.01	○	○
DDT(DDE, DDD及びDDTの和*2)	0.005	○	○	クロキントセット-メキシル	0.01	○	○
EPN	0.01	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	クロリダゾン	0.01	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○
アニロホス	0.01	○	○	クロルフェナピル	0.01	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	クロルフェンソン	0.01	○	○
イプロベンホス	0.01	○	○	クロルフェンビンホス	0.01	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	クロロクスロン	0.01	○	○
インダノファン	0.01	○	○	シアゾファミド	0.01	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	シアノフェンホス	0.01	○	○
エチオン	0.01	○	○	シアノホス	0.01	○	○
エトプロホス	0.005	○	○	ジウロン	0.01	○	○
エトリムホス	0.01	○	○	ジオキサベンゾホス	0.01	○	○
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	○	ジクロフェンチオン	0.01	○	○
エンドリン	0.005	○	—	ジクロラン	0.01	—	○
オキサジクロメホン	0.01	—	○	ジコホール	0.01	○	○
オキサミル	0.01	○	○	シハロトリン	0.01	○	○
オキシカルボキシシン	0.01	○	○	ジフェノコナゾール	0.01	○	○
オリザリン	0.01	○	○	シフルトリン	0.01	○	—
カズサホス	0.01	○	○	シフルフェナミド	0.01	○	○
カフェンストロール	0.01	○	○	シペルメトリン	0.01	○	—
カルバリル	0.01	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	スルプロホス	0.01	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	キ ヤ ベ ツ	ほ う れ ん そ う こ ま じ な	農薬名	検出限界 (ppm)	キ ヤ ベ ツ	ほ う れ ん そ う こ ま じ な
ダイアジノン	0.01	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	—
チアクロプリド	0.01	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○
チアメトキサム	0.01	—	○	ブタミホス	0.01	○	○
テトラクロルビンホス	0.01	○	○	フラメピル	0.01	○	○
テトラジホン	0.01	○	○	フルシトリネート	0.01	○	—
テブチウロン	0.01	○	○	フルバリネート	0.01	○	—
テブフェノジド	0.01	○	○	フルフェナセット	0.01	○	○
テフルトリン	0.01	○	—	フルフェノクスロン	0.01	○	○
トラルコキシジム	0.01	○	○	フルリドン	0.01	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	プロシミドン	0.01	○	○
トリフルムロン	0.01	○	○	プロチオホス	0.01	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	プロピザミド	0.01	○	—
ノバルロン	0.01	○	○	ヘキサフルムロン	0.01	—	○
パラチオン	0.01	○	○	ヘキシチアゾクス	0.01	—	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	—	○
ピフェントリン	0.01	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○
ピラクロストロビン	0.01	—	○	ペンシクロン	0.01	○	○
ピラゾリネート	0.01	—	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○
ピリフタリド	0.01	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	ペントキサゾン	0.01	—	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	ボスカリド	0.01	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○
フェントロチオン	0.01	○	○	マラチオン	0.01	○	○
フェノキシカルブ	0.01	○	○	メタバンドキサズロン	0.01	○	○
フェノブカルブ	0.01	○	○	メトキシフェノジド	0.01	○	○
フェリムゾン	0.01	—	○	メビンホス	0.01	○	○
フェンアミドン	0.01	○	○	モノリニューロン	0.01	○	○
フェンクロルホス	0.01	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○
フェンスルホチオン	0.01	○	○	リニューロン	0.01	○	○
フェントエート	0.01	○	○	リンデン( $\gamma$ -BHC)	0.002	○	○
フェントラザミド	0.01	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○
フェンバレレート	0.01	○	—				

\*1 ○:実施、—:実施せず

\*2 DDTはp,p'-DDE、p,p'-DDD、o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

【農薬解説】

○アゾキシストロビン

『アミスター』などの商品名で販売されている殺菌剤で、多くの菌類に対し強い抗菌効果があります。

※参考文献

・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版